



# 湘南桜友会報

第5号 平成19年6月1日発行

発行責任者 竹内 猛  
編集責任者 内海 孝夫  
事務局 茅ヶ崎市中海岸 4-4-11  
浦田憲一方

## ～公開講座に思う(Ⅱ)～

### 長野桜友会と姉妹桜友会協定結ぶ

湘南桜友会会長 竹内 猛 (昭和33年政経)

桜友会創立85周年企画を求められた時、本会からは各支部間で姉妹関係をつくり、種々な意味での交流を図っていけば、会や学校の発展に役立つのではという提案をしたが、没であった。次の学習院公開講座の長野開催が決まり、学校・桜友会・現地支部の三者協議が着々と進んでいたこの3月、長野桜友会総会を案内された。出自の関係で毎回声がかゝるのだが、出来るだけ出席するようにしている。広い信州は、北東中南の4ブロックに分けられるが、今年は各地からの女性会員の参加が目立った。挨拶の席上、前述の姉妹桜友会の話をした。松本と藤沢、上田と鎌倉が姉妹都市なら、山と海を背景にする長野と湘南は姉妹桜友会。これから相互交流を考えよう等々。出席者は大賛成、即座で長野桜友会は湘南との提携を決めてくれた。本会も後日の役員会でこれを追認、5月の第4回総会での発表となった。



当面は、第67回公開講座に合わせ、本会有志が長野を訪問、本年7月の地引網大会を長野側に案内し、参加者を募るなど交流を始動することとした。

長野での公開講座は、首都圏での開催とは異なり、まさに大学全入時代に如何に学習院大学と女子大学の入学希望者をふやすかとの試みである。宣伝である。地方での公開講座に関係者が殆どでは洒落にもならない。

新院長が種々ご努力されておられることは理解しているつもりだが、学校法人の中心となっている学習院大学の在り方—その魅力と存在価値—をもっと皆が真剣に考えないと生き残れないと思う。法人の分割やらTOBやら、口を開けて待つ者たちがいる。(続)

### 【私と湘南】

小柴 康 (昭和32年政経)



私は昭和8年、東京は田端の生まれで、子供の頃(戦前から戦中にかけて)毎年夏休みの1月間を湘南片瀬で過ごしていた。これが私と湘南の地との出会いのルーツである。当時は片瀬橋のたもとに乃木大将の銅像があり、辺り一帯は広大な松林で所々に民家があったと記憶している。また江ノ島への丸太杭の栈橋が台風の大波で流されるのを目にしている。宵の片瀬銀座は浴衣着の避暑客で賑わい、夏の日思い出を「楽焼」に書き残したことなど懐かしく思い出される。以来、片瀬は私にとっては忘れ得ぬ地となっている。

江戸時代の画家、初代安藤広重が「相州三浦秋屋の里」と題して描いた風景がある。波打ち際に立つ高さ12m、周囲30mもの巨岩で、昔から三浦七石の一つに数えられえている「立石」である。そこからの相模・伊豆の連山や中空の富士を望む風景、特に夕日は見事の一語に尽きる。湘南の一角、この一連の海岸の台地「秋谷の里」に居を構えてはや40年余になる。

退職後の現在は、古都鎌倉を始め三浦半島の神社仏閣や周辺の山野の散策、庭の草木の手入れを楽しんでいる。年齢の積み重ねによる体形・容貌・体調の変化は如何ともしがたいが、元気な今に感謝し、気持ちのもち方と多くの友との絆を大切に、これからも人並みに分相応の「青春」を謳歌して行きたいと思っている。

<会員の紹介>

幹事 土井和子 (昭和44年短大国文)

私は学習院短大国文科を卒業致しました。卒業後二年間は国文研究室の副手をし、その後東大の国文研究室に勤務、後に創設の国文学研究資料館に勤務致しました。



結婚後は子育てに追われること二十数年。気がつけば今年、末の息子が大学生となり下宿生活を始め、今やっと子育てから解放され、ホッと一息と言ったところです。そこでこれからはいよいよ自分磨きです。高校時代から始めた華道は、老後の趣味の為に今もお稽古を続けております。それから絵手紙。これは指導者資格を取り、ボランティアで老人ホームの皆さんと一緒に書いています。

これからも色々な形で、地域やこの湘南桜友会に関わっていきたいと思っております。皆様どうぞ宜しくお願い致します。

{第4回総会・懇親会の報告}

5月12日(土)の総会で、平成18年度事業報告と決算及び19年度事業計画(案)が満場一致で承認されました。



引き続き、来賓の長南学習院教育改革推進募金部長、亀井桜友会会長他5名の方々を始め、総勢96名のご出席の中、“寺本圭一とその仲間達”によるカントリー・ミュージックを聴きながらの盛大な懇親会が催されました。

収入の部	支出の部
前期繰越金 <u>997,734</u>	事業費 <u>1,056,854</u>
うち慶弔積立金 78,400	通常運営費 <u>292,494</u>
年会費収入 <u>362,000</u>	繰越金 <u>1,136,386</u>
事業収入 <u>1,125,000</u>	うち慶弔積立 120,200
寄付金 <u>1,000</u>	
合計 2,485,734	合計 2,485,734

「18年度(後半)事業報告」

\*12月9日(土) クリスマス・年忘れ懇親会

家族同伴者を含め59名のご参加を頂き、田中健一郎氏(鎌倉マジシャンズクラブ所属)の手品を交え楽しい一時を過ごす事ができました。尚、会員谷口興文氏所蔵の素晴らしい絵画の展示も行われました。



\*2月16日(金) 参加者12名で鎌倉「東慶寺」安倍能成先生の墓参、観梅、坐禅体験をしました。

#サークル活動

♪ウォーキングの会

5月16日(水)心地好い天候に恵まれ「西洋式庭園の県立相模原公園とその近郊」を9名の参加者で散策してきました。



☆平成19年度事業計画予定☆

★6月16日(土) 第67回学習院公開講座にあわせ、この度当会と姉妹桜友会になった長野桜友会を訪問(役員有志と希望者)

★7月28日(土) 地引網大会(辻堂海岸)

★8月下旬 バーベキュー/果物狩り大会(湘南台・弁慶果実園)

★9月22日(土) 第11回SUC(湘南・藤沢地区15大学)OB会(グランドホテル湘南)

★10月下旬 19/秋 ウォーキングの会

★11月下旬 ゴルフ大会

★12月初旬 会報第6号発行

★12月9日(日) クリスマス・年忘れ懇親会(グランドホテル湘南)

★臈20年2月中旬 鎌倉東慶寺坐禅会/散策

《事務局》平成19年3月31日現在の会員数は206名(女性83名、男性123名)です。

☎学習院卒業生・関係者の入会のお誘いを宜しくお願いします。

編集後記 会員の皆さんからの会報、“ブログ”への投稿をお待ちしています。

(編集グループ:内海孝夫/榎原直樹/品川朋代)